

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、下記検査項目を新たに受託開始しますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

敬具

記

■ 受託開始日 2022年6月16日(木) ご依頼分より

■ 新規項目内容

「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」の演算法・カットオフ値に対応した項目です。

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	所要日数	実施料	基準値	備考
0850	アルドステロン 〔CLEIA〕 / レニン濃度比	血漿 1.0	B4、B5	凍結 (21日)	CLEIA	2~4日	125点 + 105点	裏面参照	下記参照

*判断料 144点(生化学(Ⅱ)判断料)

※ 基準値は、日本内分泌学会の「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」によるカットオフ値です。

【関連項目情報】

※ 日本高血圧学会の「高血圧治療ガイドライン2019」に準拠したカットオフ値(アルドステロン/レニン濃度比 40以下)をご利用される場合は、「0847:アルドステロン/レニン濃度比」をご依頼ください。

■ 検査要項

検査項目名	アルドステロン〔CLEIA〕/ レニン濃度比
項目コード	0850
検体量	血漿 1.0 (mL)
容器	B4、B5
保存方法	凍結 (21日)
検査方法	CLEIA
所要日数	2～4日
報告範囲	アルドステロン (CLEIA) : 4.0未満、4.0～99900000 (pg/mL)
	レニン濃度 (CLEIA) (ARC) : 0.20未満、0.20～99900000 (pg/mL)
	アルドステロン (C) / レニン濃度比 : ～99900000

【留意事項】

- ※ 冷蔵保存した場合、レニン濃度の上昇が認められます。
- ※ 採血条件は早朝空腹時の安静座位が望ましいが、スクリーニングでは随時座位で行って良い、とされています。

アルドステロン (CLEIA) / レニン濃度比 基準値

アルドステロン〔CLEIA〕	(pg/mL)	4.0～82.1
レニン濃度 (ARC) 〔CLEIA〕	(pg/mL)	2.21～39.5
アルドステロン〔CLEIA〕 / レニン濃度比		20未満

- ※ 陽性判定は、濃度比 ≥ 40 かつ血漿アルドステロン濃度 ≥ 60 pg/mLです。ただし、「ARR境界域」の濃度比20～40未満かつ血漿アルドステロン濃度 ≥ 60 pg/mLの場合には、暫定的に陽性とされます。
- ※ 暫定的に陽性の場合、患者コースと臨床所見、特に低カリウム血症や副腎腫瘍の有無、年齢などを考慮して、機能確認検査実施の要否を個別に検討する、とされています。